



学校だより

やまゆり

2017年10月号
平成29年9月29日
横浜市立大口台小学校

2017 大口台 折り返し地点

校長 田川 齊史

平成29年度もこの10月で前半期を終わります。4月に着任して以来、多くのまちのみなさん、ご家庭のみなさんに支えられ、子どもたちがすくすくと伸びていく大口台小学校のすばらしさを実感しております。

それぞれの学年での学習や活動は今まさに充実の時期を迎えています。今後とも、今まで以上にご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。



♥「奏」 二人 三人 たくさんの音色が心に響きました

9月19日(火)、5年生は「横浜市心の教育ふれあいコンサート」(みなとみらいホール)に行ってきました。20年の歴史を重ねたこのコンサートは全横浜市立小学校が招待されます。ホール正面に据え付けられたパイプオルガンの荘厳な音、高らかなトランペットの音、おなかまで響くティンパニーの迫力ある音、表情豊かなヴァイオリンの音…、一つ一つの音色や奏でる旋律は違っても、指揮者のタクトでひとつになると、大きく深い音となりすばらしい音楽になりました。(学校に通う子どもたちの姿と重ね合わせてしまいました。)

1時間のコンサート、アンコールの「ラデツキー行進曲」では会場全体で手拍子をして一体となりました。

◆2017 子どもたちみんながヒーロー ～ 運動会 ～

今月は運動会。体育の学習や活動の成果の一部を披露する場です。子どもたちが躍動する姿をどうぞご覧ください。毎年たくさんの方がご来場いただきありがとうございます。参観に際しては、いろいろとご不便をおかけすると思いますが、子どもの安全<移動動線や競技・演技スペースの確保>を最優先とさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、大口台小学校では、徒競走でスタートラインに立つ子どもたちの名前をコールします。371名の子どもたち全員の名前を呼ぶのですが、これは先々代の校長から引き継がれている『伝統』です。一人ひとりの子どもを大切にする、一人ひとりの名前、人格を大事にする、そんな姿勢としてお受け取りください。

♣「怒る」と「叱る」の違い

- ・ 「怒る」とは、怒り手の感情を外に爆発させること
- ・ 「叱る」とは、相手によりよい方法を教示すること

似ているようで、全く違います。「怒る」はネガティブ、「叱る」はポジティブな意味があります。子どもの困った行動に対し、私たち大人はガミガミと感情的に怒ると、その場の雰囲気は陰悪になるのはもちろんですが、ダメージはその場だけにとどまりません。

- ・ トゲのある否定語が、子どもの自己肯定感や自己効力感を低下させてしまう
- ・ 私たち大人からその感情的な対処法を学んでしまう

という弊害も出てきます。その子どもの人間関係にまで影響を及ぼす可能性も否定できません。例えば…、

- ・ 私たち大人が大声で怒鳴ると、子どもは「そうか、困ったときは/パパとママ〔先生〕みたいに怒鳴ればいいんだ」
- ・ 私たち大人が叩くと、子どもは「そうか、困ったときは/パパとママ〔先生〕みたいに叩けばいいんだ」

と学び、友達との日常に応用されやすいと思います。子どもを叱る場面というのは、私たち大人の問題解決能力を披露する場。お手本になる対処法を示してあげたい、そう我が身を振り返り、感じているところです。

学校教育目標「わくわく トライ 大口台」 ～ いいね! 大口台 ～